

■5月27日

中国国際航空、広島―大連・北京線を増便、ビジネスでの利用回復傾向

広島県は24日、中国国際航空が運航する広島―大連・北京線を、7月2日から週1往復増便され、週6往復になると発表した。日中関係の悪化で落ち込んだビジネス利用が回復してきたためという。

同線の搭乗率は6～7割台を保っていたが、昨年9月の日本政府による沖縄県・尖閣諸島の国有化などを機に、4～5割台に低下した。ことし2、3月は6割台に戻るなど回復の兆しが出ている。

(中国新聞)5/25

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201305260001.html> (-> <http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201305260001.html>)

沖縄県、石垣―那覇線、離島割引料金適用保留、地元から現行維持の声

スカイマークの4便を除く石垣～那覇路線17便の離島割引航空運賃は7月10日以降、1万6100円(ピーク期)となる。スカイマークの参入で「当日利用できる運賃が競争状態になる」として、県が離島住民等交通コスト負担軽減事業の適用を保留しているためだ。一方、スカイマークの同路線は4便しかなく、利用できない場合は現行離島割引運賃(9400円)に6700円を追加せざるを得ず、住民の負担感は否めない。八重山毎日が報じた。

那覇-石垣線	JTA	ANA	SKY
普通運賃	24,100円	24,100円	5,000円 当日購入可
割引運賃	5000円前後 前日まで購入可	5000円前後 前日まで購入可	3900円 WEB割21
離島運賃 (ピーク時例)	1万6100円 (現行離島割引運賃 9400円)	1万6100円 (現行離島割引運賃 9400円)	
路線数	10往復(RAC含む)	8往復	4往復

離島割引運賃は、離島地域の振興を図ることを目的に2012年4月から沖縄県内11路線を対象に実施、運賃が一定の水準まで低減できるよう県が航空会社に負担金を払っている。

しかし今回、県が「自由競争の妨げになる」として同事業の適用を保留した石垣～那覇路線では、スカイマーク社が普通運賃5000円を設定。これに日本トランスオーシャン航空、全日空は早割チケットを最安で5000円前後に引き下げ、予約・購入期限も前日に拡大して対抗する一方、離島割引運賃は1万6100円と元の水準まで戻した。

これにより住民が、当日購入・変更のできるチケットの運賃の差は大きくなっている。

(八重山毎日)5/25

<http://www.y-mainichi.co.jp/news/22527/> (-> <http://www.y-mainichi.co.jp/news/22527/>)

(JALプレスリリース)5/13

http://press.jal.co.jp/ja/bw_uploads/MjAxMzA1MTNfSkdOMTMwMzNflcqOhl+JXpLAIvWucGRm.pdf (->

http://press.jal.co.jp/ja/bw_uploads/MjAxMzA1MTNfSkdOMTMwMzNflcqOhl+JXpLAIvWucGRm.pdf)

(スカイマーク プレスリリース)5/23

http://www.skymark.jp/ja/news/pdf/130523_fares.pdf (-> http://www.skymark.jp/ja/news/pdf/130523_fares.pdf)

政府、平成25年観光白書案、東アジア偏重から脱却、ビザ要件緩和

政府の平成25年版観光白書案が25日、明らかになった。東アジアの観光客に依存している現状の脱却を提唱。東南アジアのイスラム教徒や団体旅行ではない個人客、ビジネス客の誘致拡大を打ち出している。6月にも閣議決定する。

白書案では、24年の訪日外国人旅行者について東アジアの4カ国・地域(韓国、中国、台湾、香港)が約65%を占め「偏重している」と分析。バランスよく訪日客を集めるため、東南アジア各国の査証(ビザ)要件緩和や、インドネシアやマレーシアに多いイスラム教徒の誘致に力を入れる方針を明示した。

(産経ニュース)5/25

<http://sankei.jp.msn.com/life/news/130526/trd13052606130001-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/life/news/130526/trd13052606130001-n1.htm>)

ボーイング787対応：全日空、初便の臨時便を運航

全日空は26日、今年1月中旬から運航を停止していたボーイング787型機の営業運航を再開した。

トラブル後、787型機が国内で営業運航するのは初。初便は新千歳発羽田行きで、搭乗率は65%（乗客218人）だった。6月1日からは全日空のほか、日本航空も定期便を再開させる。

（読売新聞）5/26

<http://www.yomiuri.co.jp/national/news/20130526-OYT1T00591.htm?from=ylist> (->

<http://www.yomiuri.co.jp/national/news/20130526-OYT1T00591.htm?from=ylist>)

国交省、ランプサイド立ち入り者、スクリーニング検査を義務付け

国交省は、航空機への不審物等の持ち込みを防ぐことを目的として、国際線が就航する全ての空港でランプサイドに立ち入る者に対してスクリーニング検査を義務付けることを決めた。7月15日から実施する。

対象者は、駐機場で作業を行う整備士や清掃員、荷物・貨物やケータリングの運搬担当者など広範に及ぶとみられる。検査は、所持品の検査ほか、X線や金属探知機を使った身体検査など複数の中から選択、あるいは組み合わせて行う。

（日刊航空）5/27

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

日航、4月、旅客輸送実績、国際線前年同月比0.2%減

日航は24日、4月のグループ旅客輸送実績を発表した。これによると、国際線旅客数は57万8,279人となり前年同月比0.2%減、微減となった。提供座席(ASK)は同4.5%増加。利用率は69.8%（前年同月69.9%）だった。中国線は、低迷が続いている一方、東南アジアを中心に外国人観光需要が好調に推移した。東南アジア線は11.9%増、北米線や欧州線はほぼ前年並みだった。

国内線旅客数は月間230万9,460人、前年比1.8%増（提供座席ASKは2.9%増）。利用率は57.2%（前年同月58.5%）だった。3月31日から開設した羽田—中部線の搭乗率は26.1%だった。

（日刊航空）5/27

<http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0527-03.pdf> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/2013-0527-03.pdf>)

（JALプレスリリース）5/24

http://press.jal.co.jp/ja/bw_uploads/MjAxMzA1MjRfSkdOMTMwMzZfSkFMg0+Di4Fbg3aDfYOTg1iDioFbg4yDflFbg2coj9qN1ykucGRm.pdf

（->

http://press.jal.co.jp/ja/bw_uploads/MjAxMzA1MjRfSkdOMTMwMzZfSkFMg0+Di4Fbg3aDfYOTg1iDioFbg4yDflFbg2coj9qN1ykucGRm.pdf)

ジェットスター・ジャパン（LCC）、付帯手数料値上げ

ジェットスター・ジャパンは24日HP上で、各種付帯手数料の値上げを発表した。5月29日以降航空券購入時より適用する。

改定となったのは以下4つの手数料。特に、コールセンター・空港の手数料は900円の値上げを行った。また受託手荷物も1kgあたり250円値上げし現行500円のところ、750円とした。

同社では、今回の改定で低運賃を継続提供する為には必要な施策だとしている。

（ジェットスター・ジャパンHP）5/25

<http://www.jetstar.com/jp/ja/travel-alerts> (-> <http://www.jetstar.com/jp/ja/travel-alerts>)

* ジェットスター・ジャパンHPより



J.jpg

JPEG イメージ [100.6 KB]

[ダウンロード](#)

エアバス、中国国際航空・深セン航空、A320を100機受注

エアバスは24日、中国国際航空とその子会社の深セン航空から「A320」型機100機を確定受注したと明らかにした。カタログ価格を基にした受注総額は96億7000万米ドルとなる。

エアバスの広報担当者によると、受注の内訳はエアチャイナが60機、深セン航空が40機。

(WSJ)5/25

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887324474704578504352690546128.html> (->

<http://jp.wsj.com/article/SB10001424127887324474704578504352690546128.html>)

デルタ航空、JFK空港、第4ターミナル、改装オープン、投資額は14億ドル

デルタ航空は24日、ニューヨークの空の玄関ロケネディ空港で自社が使用している第4ターミナルを改装し、オープンした。投資額は約14億ドル(約1420億円)。

新しい第4ターミナルは国際線用の搭乗ゲートを9つ新設したほか、屋外テラスを備えた上級クラス利用者向けのラウンジも新たに設けた。これまで隣の第3ターミナルに発着していた成田—ニューヨーク線などのデルタの国際線も、すべて第4ターミナルに移る。

(日経)5/25

http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM25019_V20C13A5NNE000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM25019_V20C13A5NNE000/)

(産経ニュース)5/25

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130525/prl13052515490007-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/economy/news/130525/prl13052515490007-n1.htm>)